



# Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第16号

目次

- 朝日町と相互友好協力協定
- 三重県・三重大学の定期懇談会開催
- キャンパス・インキュベータ設立

- 三重大学共通教育センターの設置
- 「わくわくロボコンフェア2004」開催
- 国際貢献フェスタin 三重2004への参加

お知らせ

- ・知的財産統括室より
- ・人文学部より

## 朝日町と相互友好協力協定

本学は、6月9日、三重郡朝日町との間で、同町の将来計画の策定や国際化における諸課題解決への協力を骨子とした、相互友好協力協定を締結しました。地方自治体として7番目の協力協定になります。協定調印後の記者会見では、豊田学長が「これまで学生のインターンシップ等でお世話になった朝日町と組織的に連携して、同町の活性化のお役に立ちたい」と、また田代兼二郎朝日町長が「研究成果の活用や町職員の大学での受講などを通じて、三重大学から大いに学ばせてもらいたい」と述べられました。



田代兼二郎朝日町長

豊田長康学長

## 三重県・三重大学の定期懇談会開催



6月16日、三重県庁において本学豊田学長および理事全員と、野呂三重県知事、吉田副知事、土橋出納長等県幹部との懇談会が開催されました。学長から従来以上に連携協力の関係を深めたいとの意向が述べられ、引続いて野呂知事から県として重視する連携協力テーマの説明がなされました。今後、3、4ヶ月に一度本学理事と県部局長間のテーマを絞った懇談会を定期的で開催することになりました。

## キャンパス・インキュベータ設立



本学内に設立されたキャンパス・インキュベータ（キャンパス・インキュベータ長：菅原洋一助教授）が6月15日に開所式を迎えました。この施設は意欲あるベンチャー志望者に活動拠点を提供し、自立するまでの支援を行うもので、現在、第一次入居の9社が活発な取組を始めています。運営については、創造開発研究センターが全面的に連携支援するほか、(株)三重ティーエルオー、(<http://www.mie-tlo.co.jp/>) (財)三重県産業支援センター(<http://www.miesc.or.jp/>)などの協力をいただき、大学発ベンチャー、更には新産業の創出に向けて活動していきます。(問い合わせ先：ken-sinko@ab.mie-u.ac.jp)



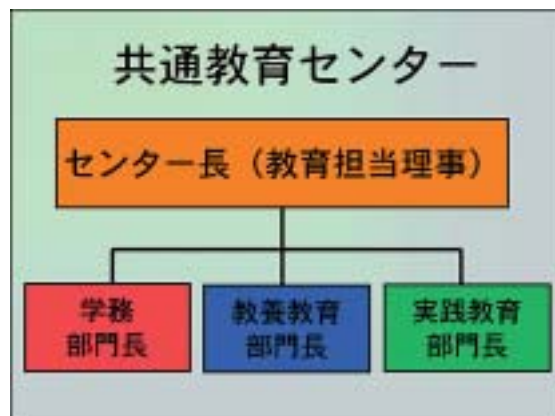
右から

- 矢谷隆一三重ティーエルオー会長
- 豊田長康学長
- 上野隆二創造開発研究センター長
- 服部卓郎三重県産業支援センター副理事長

## 三重大学共通教育センターの設置

教育研究評議会(5月19日開催)において、「三重大学共通教育センター規程」等が承認され、5月26日に共通教育センター(センター長:山田康彦・教育担当理事)が設置されました。このセンターは、「共通教育に関する諸業務を統括し、共通教育の改善と効果的な運営を行う」ことを目的としています。共通教育機構は平成17年度に向けて組織的整備が進められる予定ですが、当面は共通教育委員会に連携して、共通教育の企画等に対する提案などをしていくことになります。

センターには、学務部門(部門長:荒井茂夫・人文学部教授)、教養教育部門(部門長:高山進・生物資源学部教授)、実践教育部門(部門長:野村由司彦・工学部教授)の3部門が置かれ、副センター長には野村教授が就任されました。



## 「わくわくロボコンフェア2004」開催

5月22日、四日市ドームにて本学教育学部技術学科(世話人:村松浩幸助教授)は、特許庁・中部経済産業局、発明協会三重県支部と協力し標記のフェアを開催しました。これは128組の小学校5.6年生の親子を対象にしたミニロボット製作教室で、同学部技術科の教員、学生が指導にあたりました。また、会場では、大型ロボットのデモンストレーションに多くの来場者の注目と子ども達の歓声が上がりました。夜を徹して作り上げた学生達にとっても充実感と多くの学びを得たようです。



## 国際貢献フェスタin 三重2004への参加



6月19、20日の両日、津市羽所町のアスト津で「国際貢献フェスタin三重2004」が開催されました。本学も留学生センター(センター長:伊藤信孝教授)が担当部局としてブースを設置し、海外の大学との交流協定の現況や「三重メディカルバレー」と「ドイツ・ビオコンバレー」構想による医学交流のポスターを展示すると共に、本学の留学生もフリートーク等に多数参加しました。各団体の活動紹介コーナーが設置され、各国の文化や特産品の展示、カレー作り教室や民族衣装のファッション・ショー等が行われ、参加者で賑わっていました。

## お知らせ

## 知的財産統括室よりー知的財産管理アドバイザー



三重大学知的財産統括室に6月1日付けで、発明協会から知的財産管理アドバイザーとして飯野顕氏(客員教授)が派遣されました。本学では教職員に対する知的財産管理に関する教育とともに、知的財産や利益相反に関する各種規程の整備、(株)三重ティーエルオーとの連携などの業務にあたられます。知的財産管理のノウハウに関する教職員向けの連続セミナーを企画されていますので、是非ご参加ください。

## 人文学部よりー第4回国際環境シンポジウム開催

第4回国際環境シンポジウム「四日市公害を語る・観る・学ぶ・未来へ繋ぐー三重からアジアへー四日市学」が7月24日(土)13:00~三重大学講堂小ホールで開催されます。第1部では、「四日市公害を語る・観る・学ぶ・未来へ繋ぐ:四日市学(I)」と題し、公害病患者や学生をも含む多彩なシンポジストが登場し、人間学や未来学としての「四日市学」を伝えます。第2部の「四大公害との接点・三重からアジアへ:四日市学(II)」では人文学部の上野達彦教授がコーディネーターを務め、四大公害の研究者と韓国・中国の環境問題研究者により、アジアの環境問題の現状と国際環境協力のあり方について三重からアジアへ発信します。

(問い合わせ先:人文学部 朴 恵淑研究室 Tel & Fax: 059-231-9157 E-mail: park@human.mie-u.ac.jp)

## 投稿のお願い

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治(vpre-info@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで(<http://www.mie-u.ac.jp>)ご覧いただけます。》 編集責任者/理事・副学長 渡邊悌爾